

# 市政に対する一般質問

## 学校施設や公共施設が安心して利用できる安全確認を

日本共産党 松本 春男

## 高齢者だけの家庭の火災警報器設置に対して補助等を

あやせ市政クラブ 青柳 慎

## 農地や公園などを活用して歩いて楽しいまちづくりを

あやせ市政クラブ 安藤多恵子

た中で真摯に受け止めていると話し、  
ているが二十一年経過しており、今  
後の調査結果を踏まえ調整する。  
(他に「厚木基地など米軍の基地再  
編について」を質問)

き行い、その診断結果と併せて防火  
安全対策の指導をしている。さらに  
高齢者独り住みの家庭は九百三世  
帯あるので、今回の法律改正の趣旨  
を十分に踏まえながら火災警報器の  
設置に補助を行う対象者や補助額等  
について前向きに検討していく。  
(他に「コミュニティバス事業につ  
いて」「比留川合流地域の整備につ  
いて」を質問)

るために農産物直売所をはじめ農家  
体験留学などを実施しており、グリー  
ンツーリズムやスローライフという  
観点を含め、自然環境などの社会資  
源を生かした個性あるまちづくりを  
進めていく。それには内部の共通認  
識と市民に愛されるような取り組み  
が必要と考える。マップについては  
既存のものを再編集し、情報提供し  
ていきたい。地域の状況を知るため  
に、まず自ら行動すること地域活  
動への参加を職員に指導している。  
(他に「いきいきまじりの今後の展  
開について」「たのしい健康づくり  
について」を質問)

## 大震災に対する備えは何を最重点に取り組むのか

あやせ市政クラブ 増田淳一郎

問 市長の選挙公約である避難所  
に医薬品を備える件はどうなったか。  
また、大上などの人口密度が高く、  
震災時の一時避難場所にも遠い地区  
では大手スーパーなどの駐車場が使  
用できる協定を結ばないか。さらに、

身体障害者等のためにも近くの民間  
駐車場や耕作放棄地等とも使用協定  
の締結を。現在、各避難所には仮設  
トイレ二基を配置してあるが、非難  
人数やプライバシーを考慮し、十基  
程度に増設しては。人命救助に有効  
なジャッキ等を緊急時に使用できる  
よう、自動車整備業者と協定を結べ  
ないか。今後、防災訓練はもっと実  
情にあった訓練を取り入れては。  
答 医薬品については、現在三師  
会と災害時の救急医療体制に係る事  
業調整を図っており、年度内に保健

問 交通弱者である歩行者と自転  
車利用者の事故死は全体の四割を占  
めており、その約半数が自宅から五  
百メートルの範囲で事故に遭ってい  
る。国ではくらしのみちゾーン形成  
への支援やあんしん歩行エリアを指  
定し危険地域の改善を勧めるなど生  
活道路の安全対策を最優先に取り組  
んでいるが、本市の状況は。さらに  
綾瀬版あんしん歩行エリアを創設し  
ては。また、上土棚地区の危険箇所  
について、市道二一三号線の安全対策  
と市道二二・二三号線の歩道の整備  
状況は。綾南小学校裏門近くの横断  
歩道に押しボタン式信号機の設置を。

答 計画に基づき事故多発箇所の  
重点整備や安全施設の設置を行うと  
ともに交通安全思想の普及を図って  
いる。さらに、小・中学校や自治会  
などの意見を基に危険箇所の改善に  
努めている。綾瀬版は地域の声を聞  
きながら進めたい。市道二一三号線は  
歩道のカラー舗装化と危険箇所へ啓  
発看板を設置したい。また、地域が  
合意すれば接続道路の交通規制を要  
望したい。市道二二号線は今年度中  
に三五〇メートルの整備と一部測量  
を行う。市道二三号線は未整備部分  
を用地取得後整備していく。信号機  
は設置に向け大和署と協議していく。  
(他に「市民活動の更なる推進につ  
いて」を質問)



## 生活道路の整備を優先し 安心・安全の街づくりを

公明党 松澤 堅一

1月9日、市民スポーツセンターで開催された「成人のつどい」。今年は、973人の新成人のうち、約670人が集い、懐かしさと喜びを交わす声が会場に響いていました



問 耐震強度偽造マンションが全  
国各地で建設され、何の落ち度もな  
い購入者が被害を受けている状況で  
あり、耐震構造の問題に市民の関心  
が高まっている中、春日台中学校の  
校舎外壁の数十カ所で鉄筋の爆裂に  
よる飛び出しが発見された。そこで、  
まず市がこの事実を知った時期、設  
計や工事上の問題点及び爆裂現象の  
安全確認についてを問う。また、本  
市では過去に早園小学校等で手抜き  
工事があり、業者負担で改修した経  
験があるが、今回は訴訟を含めて費  
用負担についてどう考えているか。  
答 春日台中学校については、六  
月中旬に現地で事実確認をした。鉄  
筋の一部露出した部分は、施工時に  
はりの主筋が柱の主筋を外側に押し  
出したためコンクリートのかぶり  
設計より一部不足したものと思わ  
れる。非破壊検査を含め、現在調査  
中であり、その結果から構造計算を  
行い、安全確認後、国が定める仕様  
に基づき補修する。他の学校は、概  
ね昭和五十八年度から防衛補助事業  
の冷房改修に併せ全外壁改修済みで  
ある。また、施工業者は現場確認し

問 消防法の改正により来年六月  
から新築住宅に火災警報器の設置が  
義務付けられ、安心の暮らし実現の  
ためには、どの家庭にも設置してい  
きたいものである。本市の支援制度  
では、障害者のいる家庭に火災警報  
器が給付される制度があるが、今年  
度の設置件数は。また、火災からお  
年寄りを守るうとの観点から質問す  
るが、高齢化の進展に伴い住宅火災  
の増加が予想される中、高齢者だけ  
の家庭や高齢者独り住みの家庭の  
火災予防対策は。さらに、火災警報  
器の設置や購入の際に補助等を考え  
ないか。  
答 今年度は障害者の日常生活用  
具の給付事業で一件の申請がされて  
いるが、今後も工夫をしながら制度  
の周知をしていく。また、高齢者独  
り住みの家庭の火災予防対策とし  
て春と秋の火災予防運動期間中に住  
宅防火診断を実施マニュアルに基づ

問 市の南西部には農地や公園、  
サイクリングロードなど多くの社会  
資源がある。グリーンツーリズムや  
スローライフの視点からこれらを活  
用し、新鮮な野菜の購入、手づくり  
みそや漬物の体験教室、ドッグラン  
ホタルの生息地、バーベキューなど  
の場を配置して歩いて楽しいルート  
をつくり、暮らしのありようを具現  
化した個性輝くまちづくりを企画し  
てはどうか。また、全体構想と魅力  
をアピールするためにマップをつくっ  
ては。そのために地域を歩き、どの  
ような魅力があるのか研究しては。  
答 市では、観光や産業、農産物  
のマップ、さらにホームページ等に  
よる情報提供や農業への理解を深め

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をただすことができるものです。  
12月定例会では、12月14日・15日の本会議で14人の議員から質問が行われ、終始熱の入った論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です(掲載は質問順、4面まで続きます)。